

## 「台東区青少年委員との語る会」

日時：9月25日（水） 午後7時から（会場：区役所庁議室）

### ◇町会運営における人材不足について

質問	回答	対応
<p>防犯・防災において、町会の役割はますます重要になってきていると実感しています。然るに町会に協力してくれる人員が全く不足しているのが現状です。</p> <p>また、子供会等の町会行事においても人手不足により一人ひとりの負担が大きくなっています。</p> <p>マンションが増えて人口は増えているのに、町会員は減る一方です。さらに、高齢化により、今後ますます人手は減っていくものと思われます。</p> <p>このような課題に対して、今後どのように対応すべきでしょうか。</p>	<p>町会役員の方々には、防犯活動など様々な形でご協力をいただき感謝しています。</p> <p>町会役員の高齢化や担い手不足などの課題があることは認識しています。</p> <p>区では、建築事業者に対して、町会加入について町会と協議するよう指導したり、転入してきた方に町会加入のリーフレットを配布するなど、加入促進に努めています。また、転入してきた方は自分がどこの町会なのか分からないので、ホームページ等で自分の町会名や町会の歴史等も分かるようになると、より加入しやすくなるのかなとも思っています。</p> <p>来月には、町会や区民、マンション管理組合を対象に「町会活動に関する意識調査」を実施しますので、この調査結果を基に課題等を整理し、町会加入促進をはじめとした各種施策の検討を行ってまいります。</p>	<p>☆</p>

◇児童見守り安心システム「ツイタもん」について

質問	回答	対応
<p>現在、区内の公立小学校では児童見守り安心システム「ツイタもん」を導入しています。このシステムは、子供たちのカバンにICタグをつけておくと、校門を通過する時間を記録し、リアルタイムで保護者が登下校の確認ができたり、学校より学年別や全校児童の保護者に一斉メール発信などができる、児童の安全安心を見守るシステムです。</p> <p>このシステムは平成30年度から台東区小学校PTA連合会により導入されましたが、システム運用にかかる経費については各PTA負担になっており、台東区から補助金が拠出されています。児童にまつわる悲惨な事件や事故が多発している昨今、児童の安全安心を見守るのは教育行政の重大事項だと思います。</p> <p>そこで、現在のシステム運用経費を全額、台東区が負担するお考えはあるのでしょうか。</p>	<p>児童見守り安心システム「ツイタもん」は、児童の安全・安心を守るためにも非常に良いシステムだと思っています。また、大雨情報やインフルエンザによる学級閉鎖等の緊急メールを配信する必要性も高まっています。</p> <p>児童の安全・安心のためにも、教育委員会で対応するほうが望ましいと思いますので、今後、PTA連合会や校長会と協議をしたいと思います。</p>	<p>☆</p>

◇学校や区民の皆様が利用する施設でのインフルエンザ等の対策について

質問	回答	対応
<p>毎年インフルエンザ等の流行が問題になっています。現在、ワクチンの接種費用の補助等の対応は行われていると思いますが、学校や区民向けの施設の設備等でも、加湿器や空気清浄機の導入、エアコン等の空調設備への抗菌フィルターの装着等の対策を実施して、区民の皆様、特に高齢者や子供達の健康を守っていくことについての考えをお聞かせください。</p>	<p>現在、インフルエンザの予防接種は、生後6か月から中学3年生までの方を対象とした接種費用の一部助成と、65歳以上の方の定期予防接種を実施しています。施設の設備面では取り組む必要性が高いものから対応しています。</p> <p><b>【広報課長】</b></p> <p>感染予防のための取り組みとしては、保健所の指導のもと、消毒液の配置や、手洗い・咳エチケットの啓発を行っています。</p>	<p>—</p>

◇2020年以降の宿泊施設について

質問	回答	対応
<p>2020年に向けてホテルや民泊が増えており、ホテルもたくさん建ってきています。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会後には、それらの建物が無駄になってしまう恐れはないのでしょうか。また、災害が起きた場合に、空いている建物等を有効に活用することはできないのでしょうか。</p>	<p>国では、訪日外国人数の目標を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人としています。現在、台東区のホテル数は約600棟で数年前と比べると倍ぐらいになっていますので、台東区を訪れる観光客数も引き続き増えることが予想されます。</p> <p>住宅宿泊事業いわゆる民泊については厳しい内容の条例を作りましたので苦情は減少していると思います。民泊に関することでお困りのことがありましたら、区にご連絡いただければ対応します。</p> <p>まちの安全・安心は区の重要施策であると考えていますので、観光客の増加を踏まえた災害対策についても取り組みを進めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇台東区のバリアフリーについて

質問	回答	対応
<p>高齢者が多い台東区ですが、駅のバリアフリー化はどのくらい進んでいるのでしょうか。</p> <p>私はいつも鶯谷駅を利用していますが、北口はバリアフリー化になっていないため、お年寄りや大きい荷物を持った方等が大変そうにしているのを見かけます。さらに言問通りにあるエレベーターの設置場所が分かりづらいので、皆さんに分かるようにしていただきたいです。</p> <p>また、上野駅の中央口から山手線等のホームに行くところにエスカレーターがあるのは分かりますが、車椅子の方などが利用するエレベーターの設置場所が分かりづらいので、分かるようにしていただきたいです。</p>	<p>現在、区内の鉄道の駅は全部で23駅あり、既に19駅はバリアフリー化がされており、残りの4駅についても令和2年度中に整備される予定です。</p> <p>鶯谷駅北口についてはバリアフリー化が必要であると認識しており、J Rに申し入れをしていますが、技術面での課題があるということも聞いています。さらに、北口は無人数化になってしまいましたので、人員配置もあわせてJ Rに申し入れを行ってまいります。</p> <p>また、エレベーターは言問通りの奥側に設置してありますので、案内板を掲出するなど、設置場所が分かるように検討します。</p> <p>最後に、上野駅のエレベーターの設置場所については、J Rにお伝えします。</p> <p>今後も、すべての人に安全・安心で快適なまちになるよう、取り組んでまいります。</p> <p>※要望内容と区の回答状況についてJ Rと共有し、検討を申し入れました。(計画調整課)</p> <p>※鶯谷駅北口側にあるエレベーターへの案内については、管理者である東京都第六建設事務所に意見内容をお伝えし、検討を依頼しました。(道路管理課)</p>	<p>△</p>

### ◇外国人観光客について

質問	回答	対応
<p>国際通り沿いにバスの乗降場所が数か所ありますが、バスが止まると観光客等が一斉に降りてきて歩道いっぱい広がったり、商店の入口を塞いだり、歩道で喫煙したりなど、マナーの悪化が目立ってきています。また、子供たちの通学路にもなっていますが、歩道がふさがれて歩きづらくなってしまっています。</p> <p>オーバーツーリズム（観光公害）とならないように、東京2020大会までにバスの乗降場所の整備や、マナーパンフレットの作成など、適切な対応をとっていただきたいと思います。</p>	<p>区では、浅草周辺における観光バスの混雑を解消するため、平成29年に「観光バス予約システム」を導入しました。また、全国で初めて「台東区観光バスに関する条例」を制定しました。これらにより、だいぶ観光バスの混雑は緩和されてきましたが、観光客のマナーについての課題があることも認識しています。</p> <p>観光客のマナーの問題については、4か国語で表記したマナー啓発リーフレットを作成し、観光バス会社を通じて配布するなど、マナー周知に努めています。</p> <p>観光バス乗降場所における観光客のマナーの問題については、近隣にお住まいの方などに迷惑がかからないよう、改善策を考えてまいります。</p>	<p>☆</p>

### ◇生涯大学について

質問	回答	対応
<p>千葉県に住む友人が生涯大学に通っていると話してくれました。60歳以上の方に入学資格があるそうです。台東区にもこのような大学があったら通ってみたいと思いました。新しいことを勉強したり仲間をつくって、これからの人生を充実したものにしていきたいです。そして、卒業した後は、大学で学んだ知識や技術を生かして、台東区や社会のために貢献したいと思っています。</p> <p>学ぶことはいくつになっても素晴らしいことなので、このような学びの場があれば良いと思います。</p>	<p>台東区に生涯大学はありませんが、区では生涯学習を目的とした様々な講座を実施しており、シニア世代を対象とした講座もあります。「シニアライフ応援計画実行委員会」では、シニア世代の方が、これまでの知識や経験を活かしながら、講座の企画から運営までを行ったり、地域で新たな仲間を作っていたりもしています。</p> <p>もし、興味がありましたら担当の生涯学習課に連絡をいただければ、詳細をご説明いたします。</p> <p>今後も、シニア世代の方々が大いに活躍していただけるように、取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

### ◇東京オリンピック・パラリンピックについて

質問	回答	対応
<p>1年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会ですが、マラソコースにもなっている台東区として、開催前や開催期間中には、小学校や中学校、高校、商店会、町会等で、区と連携しながら行事をやる予定はありますでしょうか。</p> <p>また、開催期間中、台風や地震等の災害が起こった場合の対策について、お聞かせください。</p>	<p>区では、東京2020大会に向けて、様々なおもてなしの取り組みを進めています。マラソコースになっている浅草の並木通りでは、竹で作った大きなオブジェを設置し、区の花である「あさがお」を植えておもてなしをいたします。また、平成26年に「台東区オリンピック・パラリンピック教育プラン」を策定し、あらゆる機会を通して、子供たちに様々な体験等の取り組みを進めています。商店街や町会とも連携した取り組みも行っていきたいと考えています。</p> <p>台風や地震等の自然災害が起きた場合の対策やテロ対策、暑さ対策については、警察や東京都、組織委員会等の関係機関と連携し、万全を期して取り組んでまいります。</p> <p>※東京オリンピックのマラソン競技会場が札幌に変更となりました。(東京オリンピック・パラリンピック担当)</p>	<p>—</p>

### ◇保育環境について

質問	回答	対応
<p>台東区は子供の数が増えてきており、待機児童という言葉をよく聞いたりします。最近では私立の保育園等も多く見られるようになり、ビルの一室で運営していることも多く、散歩時に狭い道を歩いている様子を見かけることもあり、区立の保育園等と比べると保育環境の差が大きいように感じています。</p> <p>幼児期の保育環境というのは、その後の子供の発達にも影響すると思います。</p> <p>保育環境の格差が無く、全ての施設が子供を安心して預けられる場所になってほしいと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>区では、良い保育環境のなかで質の良い保育をしようということで様々な取り組みを進めています。</p> <p>台東区の場合は十分な土地が確保できず、園庭を整備することができないため、周辺にお散歩に行くことなどもあります。</p> <p>また、台東区ではありませんが、先日、園児の散歩中の事故の報道がありましたので、警察と連携し、区内にある保育園等の散歩コースの点検をしています。</p> <p>今後も、子供たちの安全・安心を守るとともに、待機児童数ゼロを目指して、引き続き保育環境の整備を進めてまいります。</p>	<p>○</p>